

第7回トラック輸送における取引環境・労働時間改善富山県地方協議会 議事概要

1. 日時

平成29年12月21日（木） 13時30分～

2. 場所

富山県トラック会館

3. 委員

千々岩 力	高岡法科大学 大学長
新庄 幹夫	富山県商工会議所連合会 常任理事・事務局長
宮崎 友之	一般社団法人富山県経営者協会 専務理事
増川 茂則（欠席）	富山県中小企業団体中央会 専務理事
相原 真美	富山県消費者協会 事務局長
林 清淳	株式会社不二越 営業管理部物流管理センター長
西田 真一	YKKAP株式会社 生産本部ロジスティクス推進部供給企画室長
奥田 晃史（欠席）	三協立山株式会社 三協アルミ社事業統括部事業管理課副参事
秋永 吉男（欠席）	中越パルプ工業株式会社 経営管理本部管理部副部長
小森 誠一（欠席）	テイカ製菓株式会社 取締役購買物流本部長
小杉 紘平	一般社団法人富山県トラック協会 副会長（魚津運輸(株) 取締役会長）
勝山 功	一般社団法人富山県トラック協会 副会長（三和運輸(株) 取締役相談役）
荒木 一義	株式会社荒木運輸 代表取締役社長
稲土 英博	一般社団法人富山県トラック協会 専務理事
高柳 幸司	全日本運輸産業労働組合富山県連合会 執行委員長
山崎 英生	厚生労働省富山労働局長（代理 細江 裕行 労働基準部長）
江角 直樹	国土交通省北陸信越運輸局長（代理 林 伸治 自動車交通部長）
【オブザーバー】	
室賀 利一	株式会社日通総合研究所 Consulting Service Unit Principal Consultant

4. 概要

議題

- (1) パイロット事業の概要及び進捗状況について
- (2) 取引環境・労働時間改善の取組みについて
- (3) 今後の取組みについて
- (4) その他

○主な意見等

（標準運送約款改正）

- ・荷待ち時間等に当然係るコストが今まで見られていなかったのを見るようになったことで、荷主も積極的に改善しないといけないという考えが働くのではないか。【経済団体】
- ・荷待ち時間の義務付けにより、全国の生産工場では恒常的な荷待ちが発生していないか確認

した。こういった事は荷主側も継続的に見ていかなければいけない。【荷主】

- ・荷待ち等の現状を見直しするのに良い機会であった。ただし、着荷主の方には理解が得られない。荷主として出来ることを地道にやっていく。【荷主】
- ・運送約款の改正が分かった時から運賃の値上げ交渉を行ってきた。荷主側もコストで苦勞しており、運賃値上げばかりでなく、消費者側の方でも物の値段が上がり、作る側の方でも単価を上げていかないと、うまく進まないと実感した。【トラック事業者】
- ・今回の運送約款の改正は「手間のかかるお客様というのは、ある程度、区別して料金をいただきますしょう」というのが、今回の大方の衆意だと思う。これは、将来に向けて運賃料金収受のあり方をきっかけになると思っている。【労働組合】
- ・着側の所で荷待ち待機は、多く発生する状況にあり、その待機料をどちらが支払うのかということが、非常にナーバスな課題である。行政側からの指導があれば、非常に有難い。【同】

(荷待ちの記録)

- ・荷主都合の荷待ち時間等の記録は総重量5トン以上となっているが、小さい車でも、食品問屋などといったところで、荷待ちが発生するケースもあるので、2トン車まで引き下げることがを要望する。【労働組合】

(高速道路の利用)

- ・高速道路を利用すれば環境の面でも労働時間の問題においても交通事故の減少においても色々な面でメリットがあるので、もっと荷主の負担で高速道路の利用を多くもらえるような進め方をできないものか。【トラック事業者】